

⑬ Int. Cl.⁴
G 01 F 23/22

識別記号 庁内整理番号
A-7355-2F

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月2日

審査請求 有 (全1頁)

⑮ 考案の名称 タンク内の乾燥確認装置

⑯ 実 願 昭62-60750

⑰ 出 願 昭62(1987)4月23日

⑱ 考 案 者 上 田 浩 一 東京都調布市深大寺南町4丁目22番14号

⑲ 出 願 人 運輸省 船舶技術研究 東京都三鷹市新川6丁目38番1号
所長

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) タンク底部の溜り部に2個の温度検出器を取り付け、1個の温度検出器4はタンク内液を排出した場合に残留する液面より上部に設置し、他の1個の温度検出器5はタンク底部最下部に取り付ける。通風口または、送風用パイプ3からの通風でタンク内を乾燥させる場合に、タンク内に残液が存在する時には2個の温度検出器に温度差を生じるが、乾燥後は温度差がなくなることから乾燥状態を確認するタンク内の乾燥確認装置。

(2) 通風口または送風用パイプがタンク底部の残

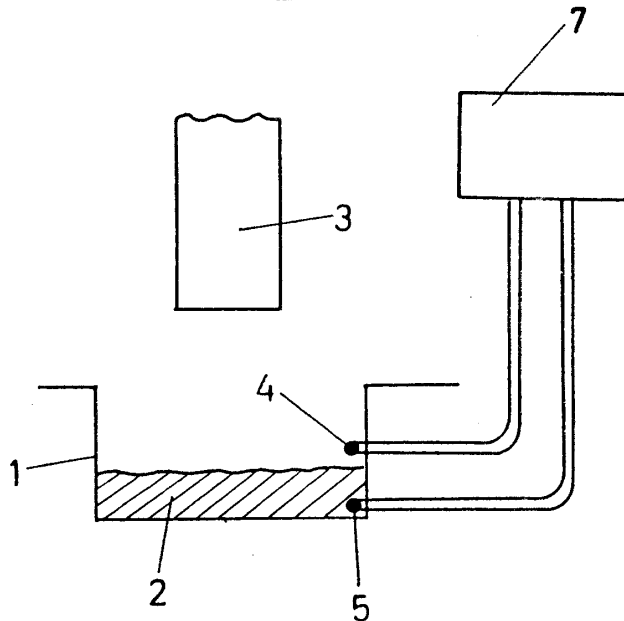
液部2から離れて、残液部への風量が少ない場合には2個の温度検出器による温度差が小さくなる。この温度差を大きくするために送風用細管6を取り付けた実用新案登録請求範囲第(1)項記載のタンク内の乾燥確認装置。

㉑ 図面の簡単な説明

第1図はタンク内の乾燥確認装置の縦断面図、第2図は送風用細管取り付け部の実施態様を示す。

1はタンク壁、2は残液、3は送風パイプ、4は温度検出器、5は温度検出器、6は送風用細管、7は乾燥検出器。

第 1 図



第 2 図

